

宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修事業特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称	宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修事業
2. 工事場所	宮崎市大字新名爪

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一区分	備考
屋内運動場	RC造	2階		1,724		
格技場	S造	1階		300		

4. 工事科目(○印のついたものを適用する)

工事科目	建物別及び屋外				
	屋内運動場	格技場	屋外		
1 電気設備	○	○	○		
2 動力設備					
3 熱電設備					
4 雷保護設備					
5 受変電設備					
6 電力販売設備					
7 充電設備					
8 構内情報通信網設備					
9 構内交換設備					
10 情報表示設備					
11 映像・音響設備					
12 記録設備					
13 説導支援設備					
14 テレ共同受信設備					
15 テレ電波障害防除設備					
16 監視カメラ設備					
17 車庫場内制御設備					
18 防犯・入退室管理設備					
19 自動火災報知・警報機器・非常警報設備					
20 中央監視制御設備					
21 医療関連設備					
22 構内配電線路					
23 構内通信線路					
24 撤去工事	○	○	○		

II 工事仕様

- 共通仕様
  - 特記仕様及び図面に記載されてない事項は、すべて国土交通省大臣官房官営施設部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」並びに国土交通省大臣官房官営施設部監修の「環境設備・環境監修の公共建築設備工事標準規格(電気設備工事編)令和4年版」による。
  - 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書、標準仕様書及び標準図を適用する。
  - 本工事の事務処理に当たっては、宮崎県総務部當課制定の工事事務処理要領による。

2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
  - 特記事項は、□に○印のついたものを適用する。
- の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

項目 特記事項

①建設リサイクル法	・ 対象工事 ○ 対象外工事	・ 請負代金の額による
<b>対象工事</b>		
	対象建設工事の種類	規模の基準
	建築物の解体	床面積の合計 80 m <sup>2</sup> 以上
	建築物の修繕・増築	床面積の合計 500 m <sup>2</sup> 以上
	建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	請負代金の額 1 億円以上
	建築物以外のもの解体・新築等(土木工事等)	請負代金の額 500 万円以上

※設備機器等は、設計図書に規定する所の品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機器及びその製造者は、つきの(1)～(6)の事項を満たすものとする。

- 機器等が所要の品質・性能を確保し、試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
- LED光源機器の仕様に特に指定がない場合は、発注時における(一社)日本照明工業会(JLMA)等の基準を満たしているものとする。

なお、これらの機器を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの證明となる資料又は外部機関((一社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督員に提出して承認を受けるものとする。

②機材の品質等

※設備機器等は、設計図書に規定する所の品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機器及びその製造者は、つきの(1)～(6)の事項を満たすものとする。

- 機器等が所要の品質・性能を確保し、試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
- LED光源機器の仕様に特に指定がない場合は、発注時における(一社)日本照明工業会(JLMA)等の基準を満たしているものとする。

なお、これらの機器を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの證明となる資料又は外部機関((一社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督員に提出して承認を受けるものとする。

③電気工作物の種類

・ 一般用 ○ 自家用

※契約電力500kW以上の場合であっても、第一種電気工事士により施工を行う。

④電気工事士

電気通信事業法第71条に規定する工事担当者 ※( )内はみなし対象の旧資格者証

- 第一級アナログ通信(AI第一種)
- 第二級アナログ通信(AI第三種)
- AI第二種
- 第一級デジタル通信(DD第一種)
- 第二級デジタル通信(DD第三種)
- DD第二種
- 総合通信(AI-DD総合種)

⑤工事担当者

・ 従量電灯(・A・B・C) ・ 低圧電力 ○ 業務用電力 ・ 臨時電力

・ 电力供給事業者( )

・ 電気主任技術者( )

※新築における工事目的物の引渡しまでの基本料金及び使用電力料金は、受注者負担とする。

- ⑦ 工事用電力、水、その他
- ※本工事に必要な工事用水、工事用電力(基本料金を含む)及び官公署等への諸手続、その他工事目的物引渡しまでの費用は、全て請負者の負担とする。
- ⑧ 工事用仮設物
- 構内につくることが ○できる ・ できない
- ⑨ 監督員事務所
- 設けない ・ 設ける( )m程度
- ⑩ 足場その他
- ・ 関連工事の関係者が定置したものは、無償で使用できる。  
○本工事に設置する。  
・ 足場をかける際には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法に従うるガイドラインによるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時は、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。

- ⑪ 発生材の処理
- (1) 引き渡しを要するもの  
・ 有り( )
- (2) 引渡しを要するもの以外  
○構外搬出適正処理
- (3) 特別管理産業廃棄物  
・ 有り( PCB使用機器)  
※PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。
- (4) 再利用又是資源化を図るもの  
・ 有り( )

12. 残土処理
- ・ 構内指示の場所に敷きならし ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構外搬出適切処理
13. 工事写真
- ※原則として、電子データで下記のものを監督員に提出する。  
撮影方法等については、国土交通大臣官房官営施設部制定の「工事写真撮影要領(令和3年版)」及び監督員の指示による。

14. 完成図書
- | 区分   | 分類・規格       | 提出方法   | 提出部数 | 備考                |
|------|-------------|--------|------|-------------------|
| 着工前  | カラード・デジタル写真 | ○ CD-R | 1部   | ・ ( )部            |
| 工事中  | カラード・デジタル写真 | ○ CD-R | 1部   | ・ ( )部            |
| 完成時  | カラード・デジタル写真 | ○ CD-R | 1部   | 全額は、原則植栽工事完了後とする。 |
| 完成写真 | カラー         | ○ 紙    | 1部   | 詳細は、工事事務処理要領による。  |

15. 施工図の取扱い
- ※施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
16. 耐震施工
- ※設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)により、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。  
なお、設計用水平地震力、設計用粘土震度は下記による。

17. 電線類
- ※施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

18. 形状・寸法等
- ※埋込電線管の場合は、電線太さと管の内径との相違を考慮して、内径より外径を約1mm以上多くする。

19. 予備配管
- ※埋込配管の場合は予備の配線用遮断器数に応じ、次のよう予備配管を設ける。  
天井スラブの場合 天井又は梁下200mmまで仕上げヨウボックス取付  
二重天井の場合 天井内まで仕上げ、ジョイントボックス取付  
配管 予備の配線用遮断器 4個以下-(PF22相当) × 1  
5個以上-(PF22相当) × 2

20. 屋外の支持金物及びブルボックス
- ※屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶接や鉛めっき仕上げ又はステンレス製とする。  
※屋外に使用するブルボックスは、図面に特記なき場合は、ステンレス製とする。
21. 呼び線
- ※長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

22. フラッシュプレート
- フラッシュプレート ○ ステンレス又は新金属 ・ 樹脂製(カラーレート含む)

23. カバーブレート及びノズルブレート等の刻印
- ※刻印の直径は10mm、文字は黒色とし下記による。  
電灯 ① 動力 ② 電話 ③ 表示 ④  
電気時計 ⑤ 電鈴 ⑥ インターホン ⑦ 放送 ⑧  
テレビ共聴 ⑨ 火報 ⑩ 防犯 ⑪ ガス漏れ ⑫  
直列ユニット(一般) ⑬ LAN ⑭

24. 表示
- ※スイッチ、コンセントで用途の判別のし難いもの及び3連以上のスイッチは表示する。  
※ハンドホール・マンホールのふたは、下図による。用途別を刻印する。

25. 地中線の埋設権
- ※地中線における埋設権の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。  
・ 鉄製( ) 苗所 ・ コンクリート製( ) 苗所

26. 標識シート
- ※標識シートは、2倍長以上重ね合せを使用し、低圧地中幹線路及び通信地中幹線路にも設ける。

27. 電路の保護
- ※特記ない引き下げ部分及び露出部分の配線はMM1(A型)にて保護する。  
※貫通部分の配線は、金属管などにて保護する。

28. 接地極
- ※接地極の材料は下記による。
- | 接地種別   | 接地極   |
|--------|---|
| A種     | EP(アースプレート 1.5t × 900 × 900鋼板)              |
| B種     | EP(アースプレート 1.5t × 600 × 600鋼板)              |
| C種及びD種 | EB(アースロッド D=14, L=1,500, より縦22 × 300 鋼製接地棒) |

29. 照明器具の接地
- ・ コードベンダント以外の放電器具、LED照明器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。  
なお、金属管配線の場合は、配管を利用しててもよい。(乾燥した場所のコンパクト器具(27W以下)を除く)

30. 電線類
- ※本工事においては、EM電線・EMケーブルを原則使用するものとする。  
※ビニル電線等を使用する旨の記載があるものは、EMケーブルの規格に読みかえ使用する。  
※EMケーブルの電線の色は、原則として裸線による。  
ただし、接地線の被覆の色は、緑・黄又は緑／赤色とする。

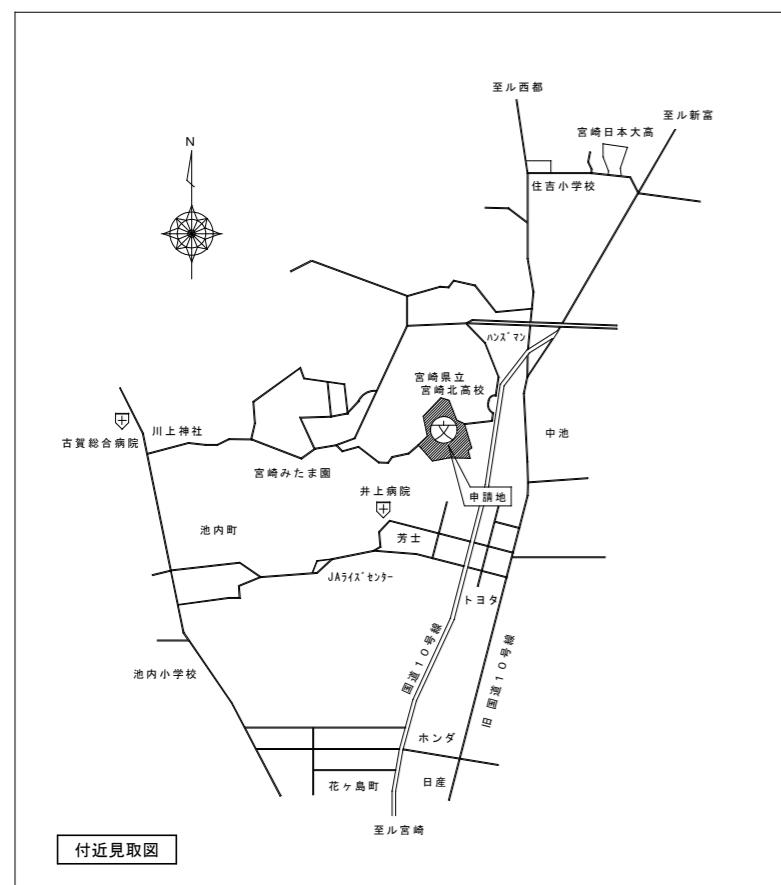
31. 撤去後の補修
- ※壁付け器具、床面機器、天井付け機器の撤去跡の取付ボルト孔、壁面、天井面の変色等は、監督員と協議して補修を行う。

32. 厚鋼電線管の溶融鉛めっき仕上げ
- ※厚鋼電線管は全て溶融鉛めっき仕上げし、めっき付着量300g/m<sup>2</sup>以上とする。

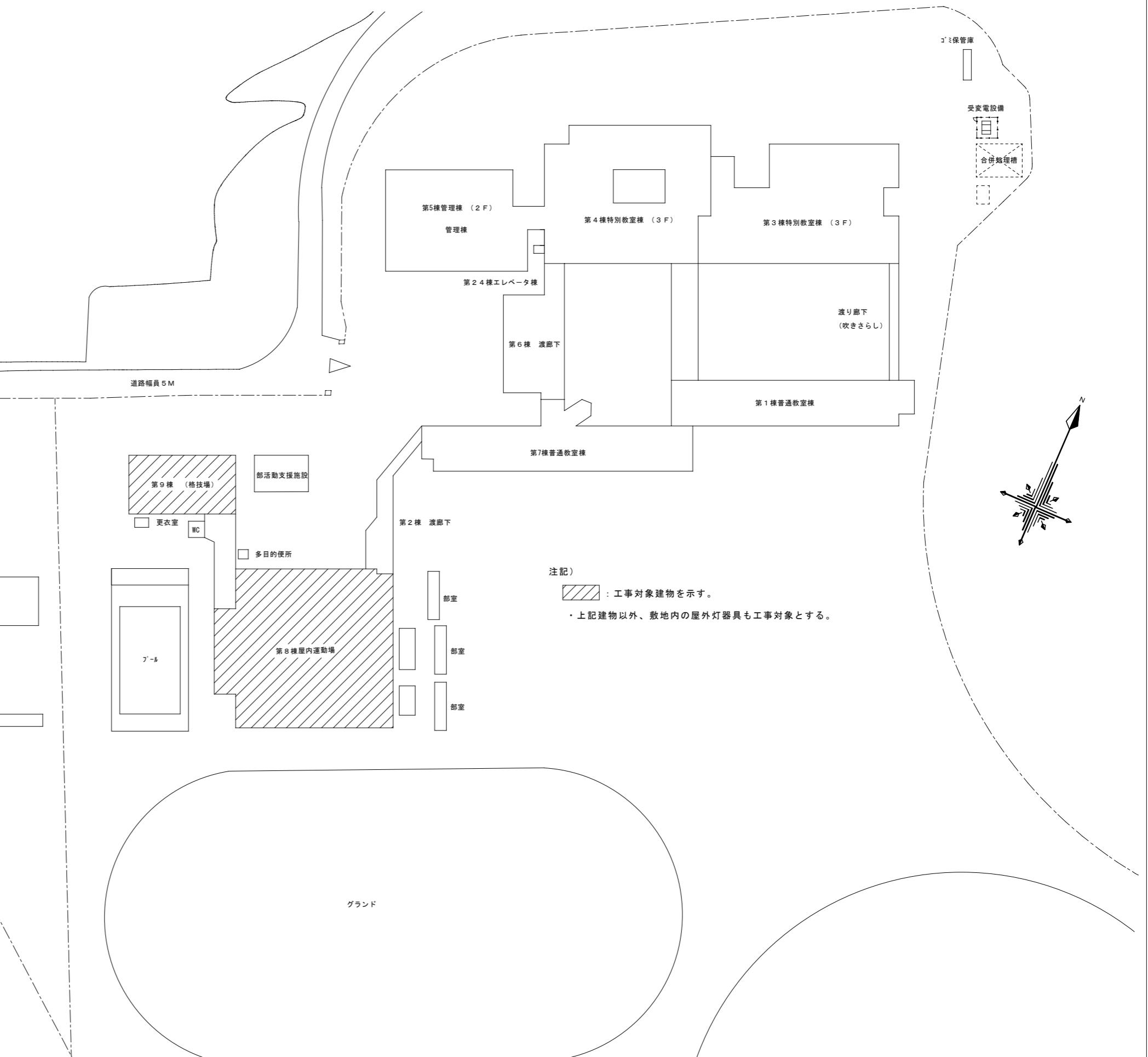
33. 露出金属配管の塗装
- ・ 屋外 ・ あり(塗装範囲は図示による) ・ なし  
・ 屋内 ・ あり(塗装範囲は図示による) ・ なし

34. コンクリート工事
- (1) コンクリート製造工場の選定  
※JISマーク表示認証工場で、宮崎県内コンクリート品質管理監査会議の監査に合格した工場  
上記工場で製造されたディーコンクリートを使用する場合には、「品質管理監査会議の審査及び配合報告書」の提出と、セメント、骨材、練り混ぜ水、混和剤の試験結果及び配合計算書の提出を名詮することができる。

- (2) 軽易なコンクリート工事の品質管理試験  
コンクリートの用途が特に重視される場合及び小規模工事(総使用量が50m<sup>3</sup>未満かつ1日の打設量が10m<sup>3</sup>未満の場合)で、監督員の承認を受けた場合は、JISマーク表示認証工場の品質認定書(監督員が指示するもの)の提出により、スランプ、空気量、単位容積質量、温度、硬化物質量の試験及びコンクリート強度試

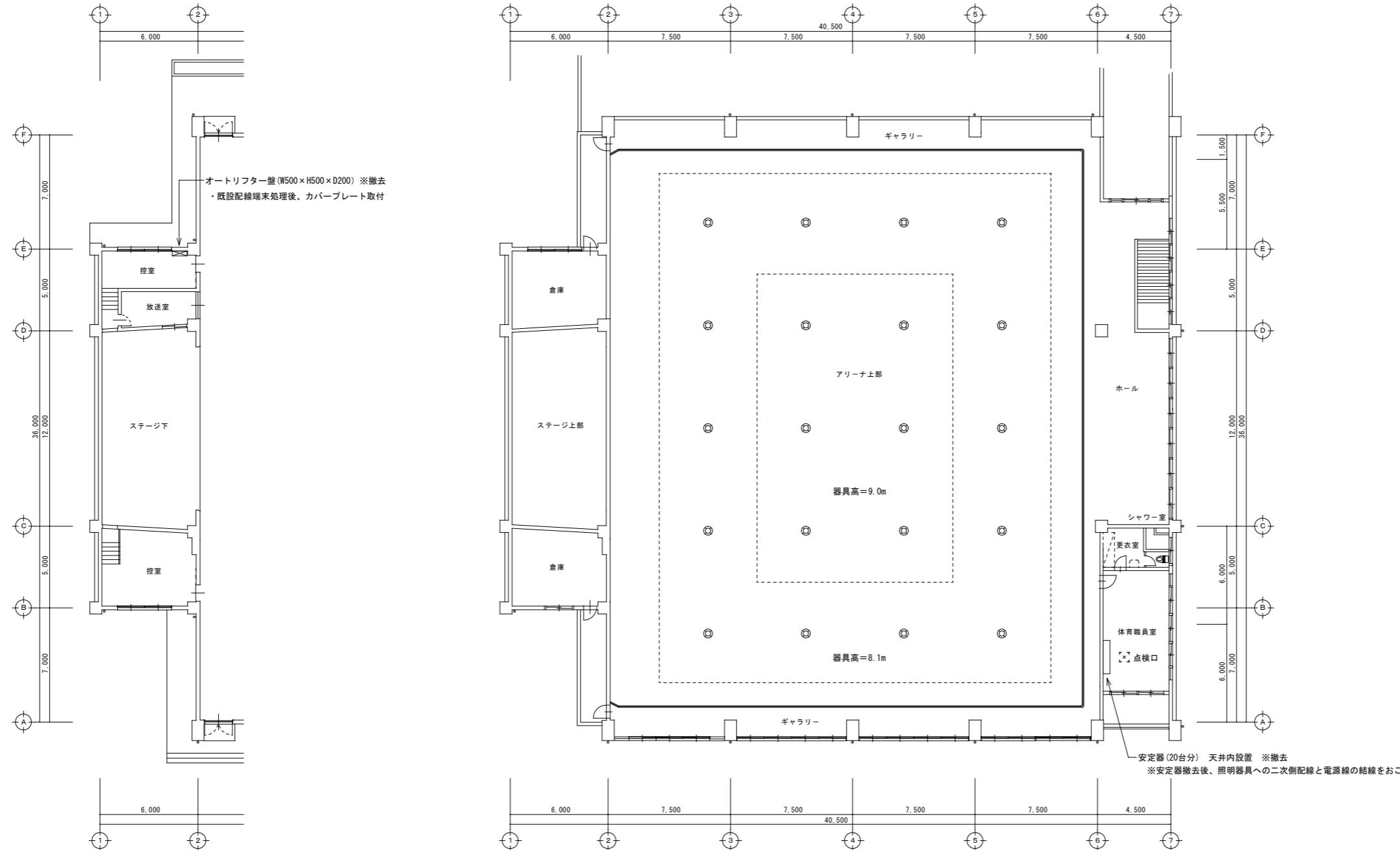


配置図 S=1/500



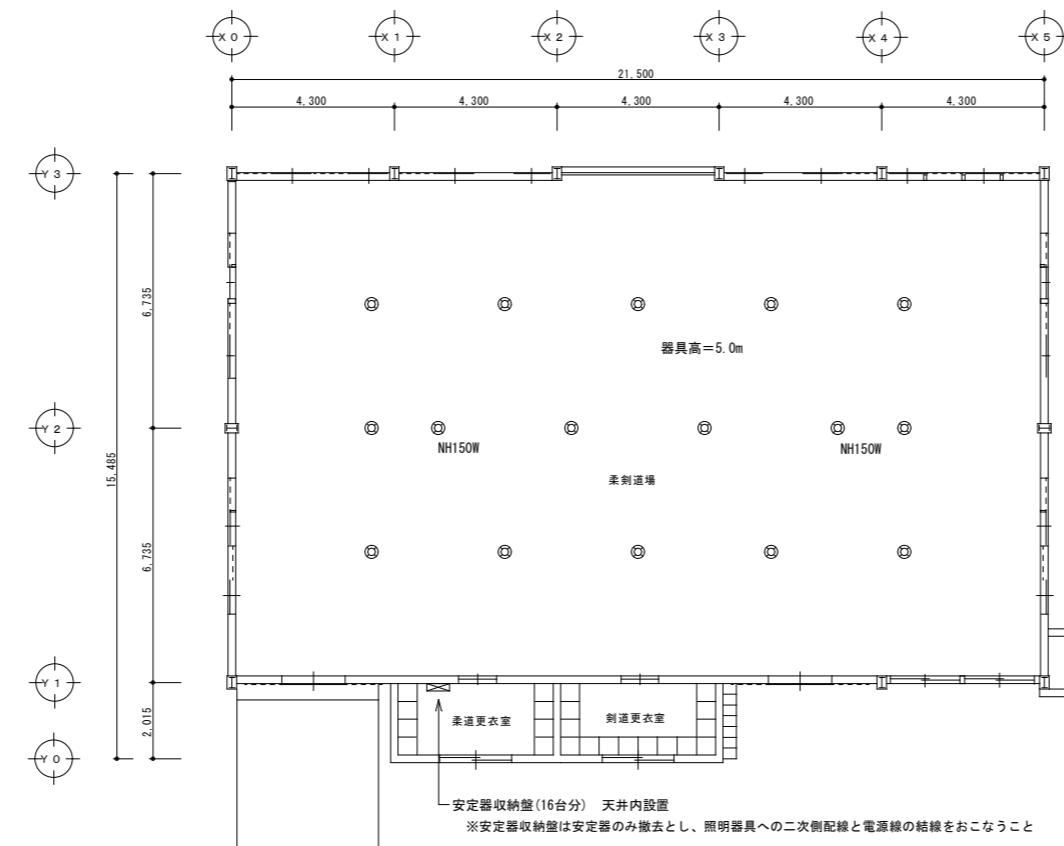
記事	月日	坂元設計			設計年月日 R6.11	設計	工事名称 宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修事業	桜園	図面番号 E-02
	*	建築設備企画設計・監理 〒880-0912 宮崎市大字赤江545-15 TEL(0985)88-1562 建築設備士登録 第21GA-0058RC号 坂元 道夫							
	*					製図	図面名称 配置図・付近見取図	縮尺 A1:1/500 A3:1/1000	
	*								

凡例	アリーナ	台数	備考
◎	HID灯器具(直付) NH400W+IL300W	20	撤去・更新
○			
△			
×			



記事	月日	坂元設計 建築設備企画設計・監理 〒880-0912 宮崎市大字赤江545-15 TEL(0985)88-1562 建築設備士登録 第21GA-0058RC号 坂元 道夫	設計年月日	設計	工事名称	宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修工事 屋内運動場照明設備 平面図(改修前)	E-03
	・		R6・11				
	・			製図	図面名称		

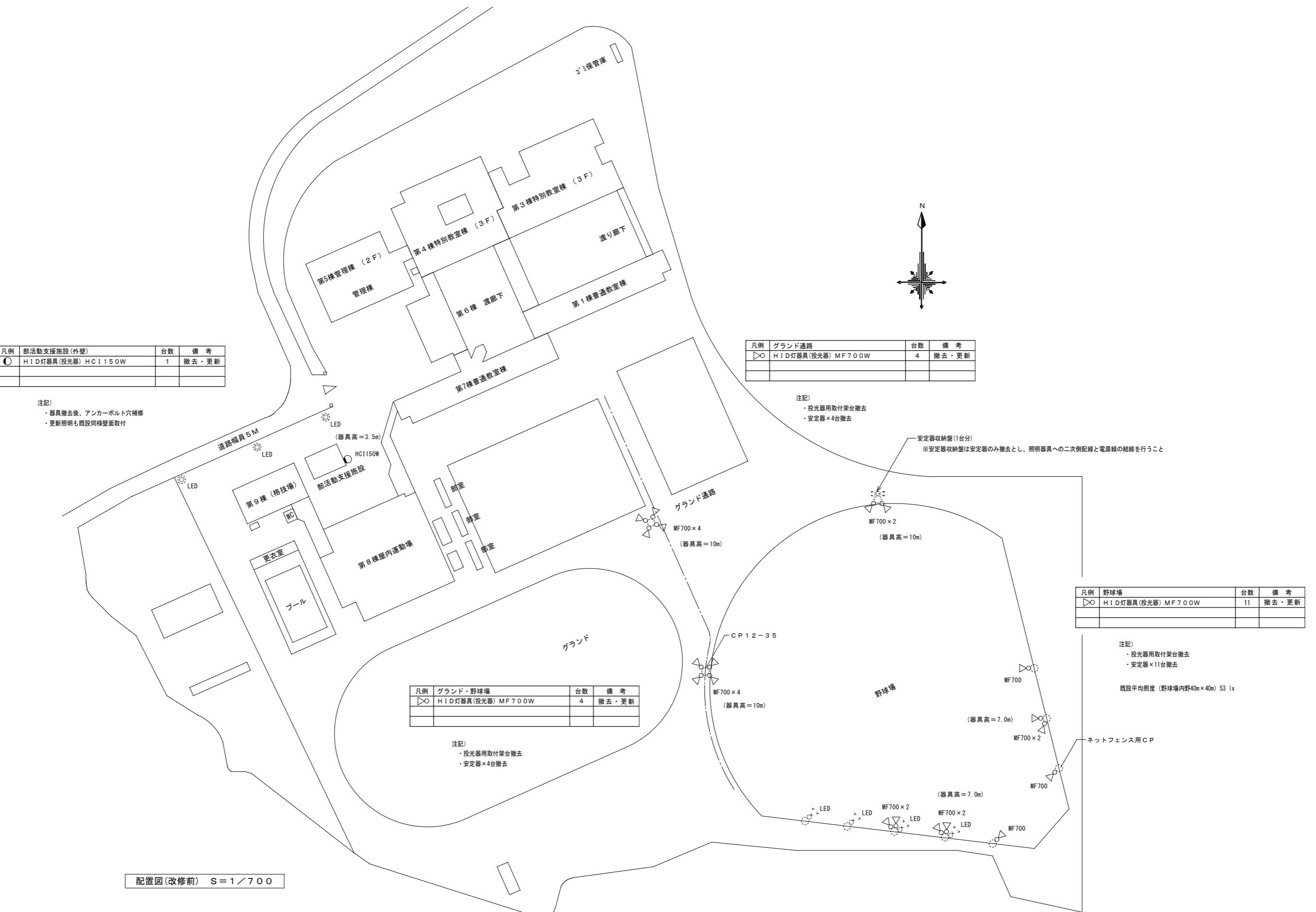
凡例	柔剣道場	台数	備考
◎	HID灯器具(直付) NH150W	2	撤去・更新
◎ <sub>NH150W</sub>	HID灯器具(直付) HF250W	14	撤去・更新



記事	月日
.	
.	
.	

**坂元設計**  
建築設備企画設計・監理  
〒880-0912 宮崎市大字赤江545-15 TEL(0985)88-1562 建築設備士登録 第21GA-0058RC号 坂元 道夫

設計年月日 R6・11	設計	工事名称 宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修工事	検図 E-04
	製図	図面名称 格技場照明設備 平面図(改修前)	
		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



記 事	月 日	坂元 設計  建築設備企画設計・監理 〒880-0912 宮崎市大字赤江545-15 TEL(0985) 88-1562 建築設備士登録 第21GA-0058RC号 坂元 道夫	設計年月日	設計	工事名称	E - 05	図面番号
	.		R 6・11		宮崎北高校第8棟(屋内運動場)他照明設備改修工事		
	.			製図	図面名称		